

NPO 法人

全日本語りネットワーク

〒185-0021 東京都国分寺市南町 2-18-3

国分寺マンション B-03A

(FAX) 0237-67-7001

(HP) <http://japankatarinet.jp/>(E-mail) [welcome@japankatarinet.jp](mailto:welcome@japankatarinet.jp)

(振替) 00130-2-114808

2020. 11. 22

ニュース

## 紙上テラブレレーション！平和の語り 2020

主催 NPO法人全日本語りネットワーク

末吉正子 (当会運営理事 紙上テラブレレーション編集担当)

Telling (語り) と Celebration (祝典) をつなぎ合わせてテラブレレーション！

アメリカ National Storytelling Network から発信されている「語りの心の交流の祭り」です。「十のお話が百ヶ所で語られたら、千のお話が散らばる」……身近な人たちに語りの楽しさを知ってもらおうという願いをこめて、故 J・G・パウバウ・ピンカートン氏が一九八八年に提唱して以来、世界各地にひろまり、これに呼応して、NPO 法人全日本語りネットワークは「世界中の人々と語りの友情の輪でつながりましょう！」と、全国の語りグループにテラブレレーションの各地での開催を呼びかけてきました。

ところがこの春、世界規模での新型コロナウイルス感染拡大という予測不能な事態が発生して以来、様々な文化をとりまく状況は一変し、語りの世界も同じく、苦境にあえいでおります。語り手と聞き手が共に創り出す協同空間……互いに息の触れ合えるような場で、肩寄せ合って、生の声で、「語る喜びと聞く楽しみを分かち合おう」という、ちよつと前までは何の支障もなかった歓びを交わし合うことが、今年は残念ながら難しい事態となりました。

NPO 法人全日本語りネットワークは、毎年十一月に「テラブレレーション平和の語り」を開催してまいりましたが、残念ながら、今年度は会場での集会をとりやめることとなりました。けれども、泣いてばかりはいられません。そこはしぶとい語り手魂。語りの火は消えない。消さないぞ。

会場でお会いできない代替案として、テラブレレーションの二本立てを企画いたしました。

二〇二〇年十一月二十二日

「オンラインテラブレレーション平和の語り」と、  
「全日本語りネットワークニュース七七号 紙上テラブレレーション！ 平和の語り」を、  
コラボレーションでお届けいたします。遠方に暮らしていらっしゃる会員の皆様や、高齢でなかなか会場までは足を運べない皆様方も、紙上でのテラブレレーションならお楽しみいただけるのではないかと、希望の灯をともしております。

十三人の語り手による「平和の語り」が皆様の心に届きますようにと願いつつ……

紙上テラブレレーション！平和の語り 2020

開幕でございます。

高橋 京子	「樺太の戦争」	(自作)	P2
堀 実和子	「101日」	(自作)	P5
宮川千恵子	「覚えているよ」	(自作)	P6
三河 昌代	「ゆう君の卒業式」	(自作)	P8
植田たい子	「おんぶひも」	(自作)	P10
小野 美香	「小さな勇気・大きな勇気」	(自作)	P12
藤田 浩子	「無筆の手紙」	(出典は P13 に記載)	P13
井上 幸弘	「ジャングルの語り-シャヤムシャヤ-」	(出典は P15 に記載)	P14
蛤谷 糸美	「ばあさまの嫁いり」	(自作)	P16
有岡 光枝	「宇都宮空襲と大いちょう」	(出典は P19 に記載)	P18
廣田 弘子	詩集『母からの道』より	(自作)	P20
間中 一代	「烏(からす)を食べたじい様の話」	(出典は P21 に記載)	P21
望月新三郎	「ススメ少国民」	(自作・転載 P24 参照)	P22